



福岡県教育センター研究発表会

「(義務制) 研究報告会」が行われました

本年度の研究発表会は、全体会〔12/8〕、(義務制)研究報告会〔2/2〕、(県立学校)研究報告会〔2/21〕と、三日間に分割して開催しています。そのうちの一つ、義務制の研究報告会として、長期派遣研修員が研究成果の報告を行いました。

一年間、所属校や地域の教育課題、経営課題を解決するために、マネジメントの視点で実践的な研究や調査を行ってきました。報告会では、その研究成果を三分科会に分かれて報告しました。当日は、県や市町村教育委員会、長期派遣研修員の所属校を含む各学校等から多くの方々にご参加いただき、大変充実した報告会になりました。また、今回はハイブリット形式を取り入れたことで、オンラインでも沢山の皆様にご参加いただきました。本当にありがとうございました。

一年間の研修を通して学んだことを今後地域や学校等に還元していきたいと思えます。

各研修員の報告内容につきましては、動画として当教育センターホームページにて、視聴可能となっています。また、報告書も掲載しておりますので、併せてご覧ください。配信は3月末までの予定です。



【報告会後の感想】

この一年間、若年教員への組織的な支援体制の構築に向けた研究を通して、様々な視点から、組織マネジメントについて学ぶことができました。若年教員の育成については、どの学校においても喫緊の課題であることは明白で、その課題を解決するためには、やはり学校全体で組織的に取り組む必要があると改めて感じています。今回の研究を所属校に還元するとともに、他校においても、人材育成の取組の一助となれるよう、さらに研究を深めていきたいと思えます。

(小学校教諭)



「不登校予兆における早期発見対応に関する組織的取組」の研究を一年間取り組んできました。報告会では、研究の成果を参加者の方に分かりやすく伝えること、また、研究に協力してくださった所属校の先生方の頑張られた姿をお伝えすることを意識しながら臨みました。大変緊張しましたが、発表後はこれまでにない達成感を得ることができました。貴重な経験をさせていただいたことに心から感謝いたします。今後は、地域の教育課題解決や学校教育目標の実現に向けて努めていきたいと思えます。

(中学校養護教諭)

一年間の研修を通して、カリキュラム・マネジメントを進める上での大切な視点を学びました。昨年度までは、担当教科の指導力向上を目指してきましたが、重点目標実現に向けて、教科等横断的な視点で資質・能力を育成することや各教科等で共通の手立てを設定することなど、全教職員で目指す生徒を育成することの大切さについて学びました。研究報告会でいただいたご意見を踏まえて、カリキュラム・マネジメントの充実を図っていきたいと思えます。

(中学校教諭)

